|  |  |
| --- | --- |
| 令和2年度（2020年度）用 | 小学校算数科用 |

|  |
| --- |
| 「新しい算数」  臨時休業明けの年間指導計画参考資料  **【３年】** |

令和2年（2020年）6月 版

※単元ごとの配当時数，主な学習活動などは，今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

本資料は，令和２年度用教科書「新しい算数」に基づいて，学校での授業と，学校の授業以外の場において取り組む学習活動を併用してご指導いただく場合の学習指導計画案を示したものです。学校の授業以外の場において取り組む学習活動をできるだけ多く取り入れる場合を想定しています。

**本資料をもってすべての状況に対応することは困難です。地域や学校の状況に合わせて，適宜，学校の授業以外の場において取り組む学習活動を増減していただくなど，あくまで一例としてご活用ください**。

【本資料作成にあたっての基本原則】

●授業の1単位時間は同一であることを前提とします（例えば，30分授業，40分授業，45分授業などを柔軟に組み合わせる弾力的な時程編成を行うことは，本資料では前提にしません）。

●主体的な学習のための動機づけをしたり，思考力・判断力・表現力を育んだりする指導は，これまでと同様におもに授業で行うことを想定しています。

●学校の授業以外の場において取り組む学習活動としては，主として，

ア）習熟・定着のための演習をおもなねらいとしたページ

イ）既習内容の復習をおもなねらいとしたページ

ウ）単元で学習した内容を，日常生活や数学の世界で活用することをねらいとしたページ

を選定しています。

すなわち，学校の授業以外の場において取り組む学習活動においても，知識・技能の習熟・定着のための学習と合わせて，授業での学びの深化をねらいとした学習活動や，いっそう貴重になる学校での授業機会での学びをより深いものにするための予習や準備などを適宜に取り入れていくことを念頭に置いています。また，児童の実態を確認し，必要な指導を適宜取り入れることが肝要であると考えます。

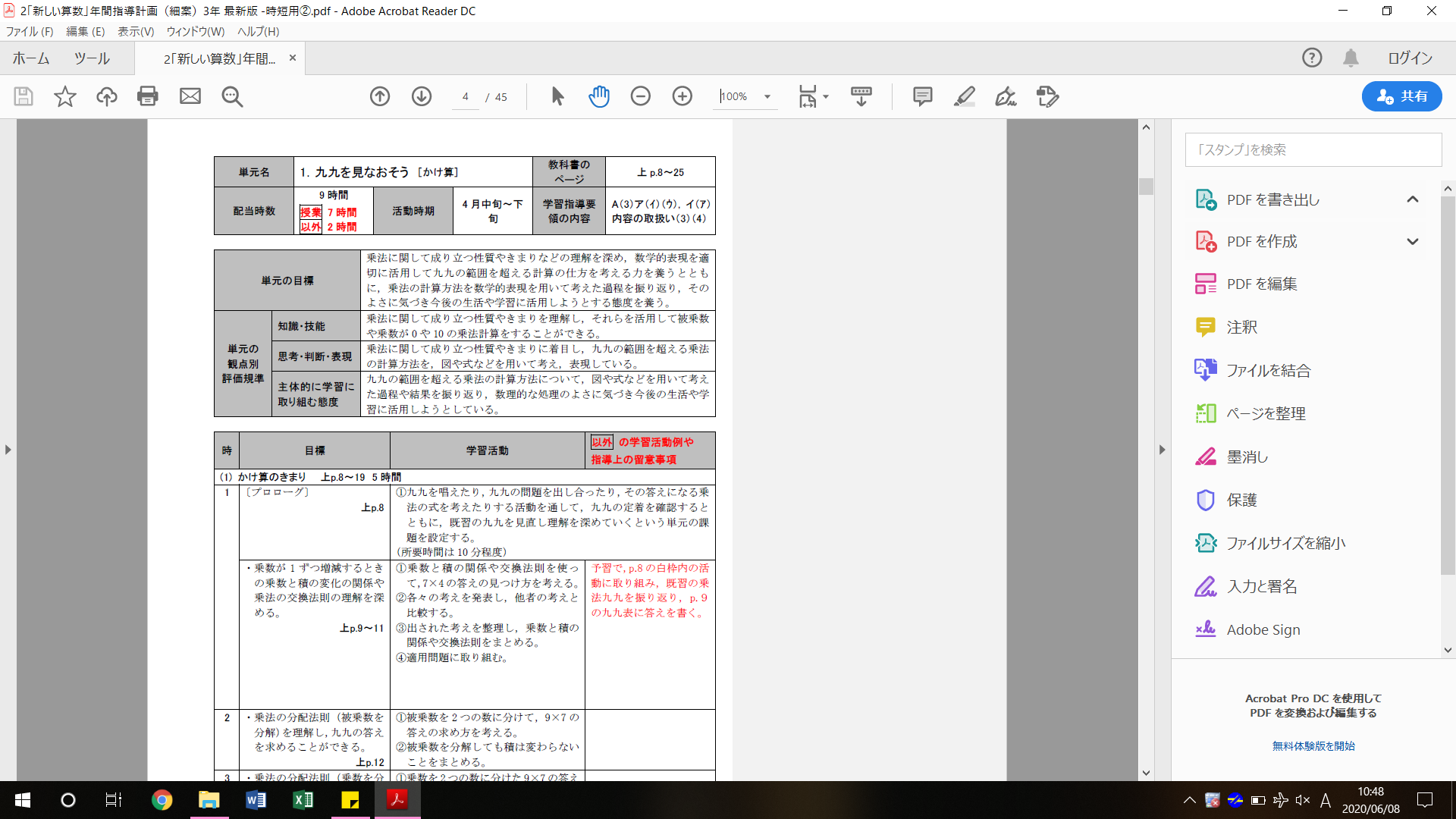
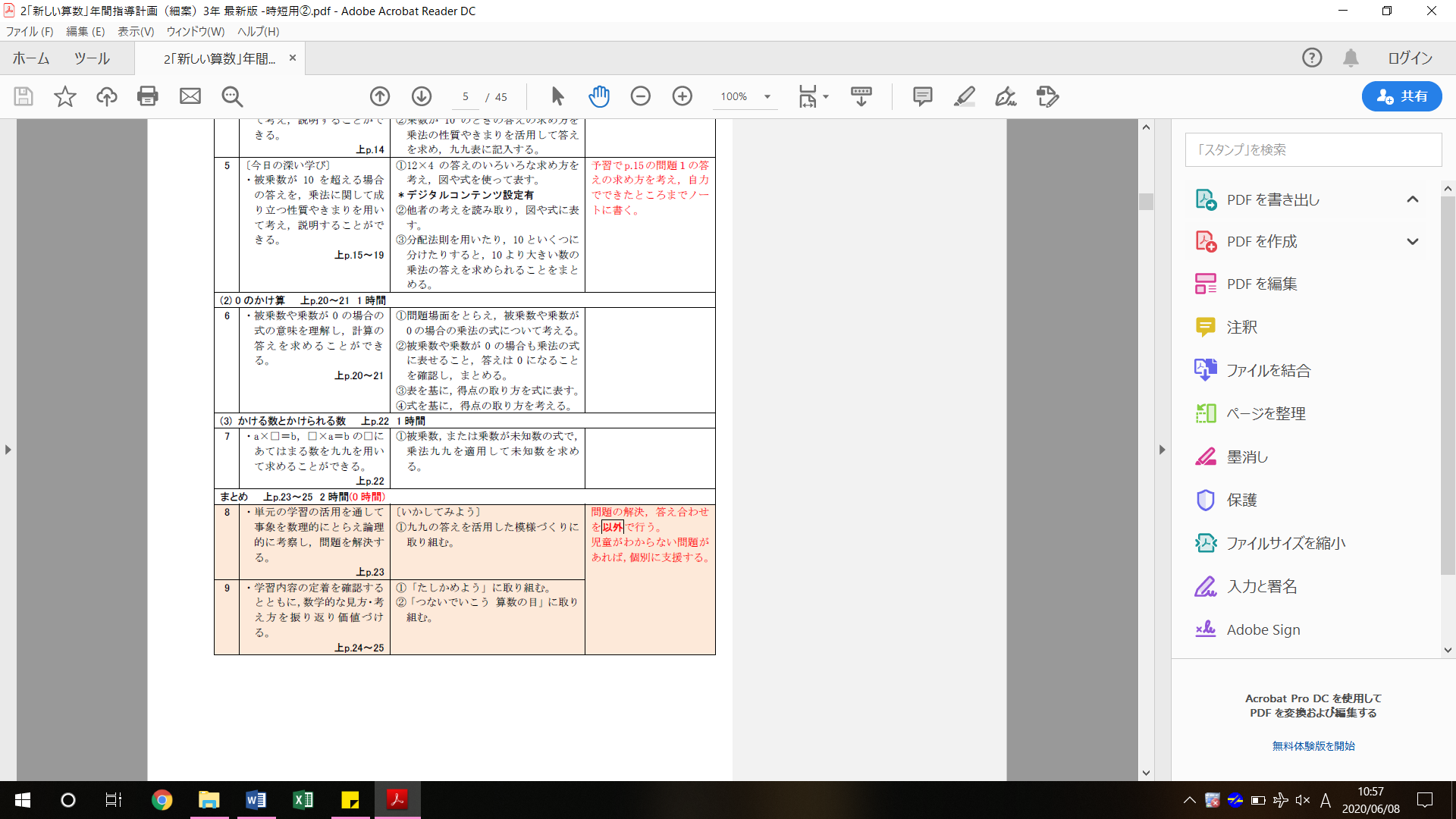
9時間

**授業 7時間**

**以外 2時間**

平時の際の，学校での授業時

間数を表しています。



**以外**で取り組むこととする学習活動には，赤いアミをしいています。

該当の時間の学習活動に即して，

**以外**における予習・復習などの例や，

**授業**，**以外**における指導上の留意事項などを適宜示しています。

あくまで一例ですので，学校や地域の実態に応じて，適宜ご参照ください。

学校での授業（**授業**）と，学

校の授業以外の場において取

り組む学習活動（**以外**）を併

用して指導することを表して

います。

その場合の，**授業**，**以外**それぞれの時間数も示しています。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 学びのとびら | | | 教科書の  ページ | 上p.2～7 |
| 配当時数 | 1時間  **授業 0時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 4月中旬 | 学習指導要領の内容 | 第2学年の内容 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | * 算数科の学び方，問題解決の方法やノートのつくり方を共有したり，教科書の使い方を確認したりして，子どもたちが自ら教科書を有効に活用して，主体的，対話的で深い学びを実現できるようにする。   上p.2～7 | ①「もくじ」（5分）　表紙裏～p.1  ・「前の学習」や「後の学習」が示されていることにふれ，算数の学習はこれまでの学習を基に積み重ねられていること，以後の学習へつながっていることに気づかせる。また，p.1下欄を見て，前学年までに働かせ，成長してきた数学的な見方・考え方を想起させる。  ・表紙裏ページを見て，デジタルコンテンツが設定されていることやその使用方法，使用上の留意点にふれる。  ②「授業ページ」（30分）　p.2～3  ・前学年までの学習で解決できる問題について，数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を実際に遂行することを通して，算数科における学び方や問題解決の方法を認識させる。  ③「算数マイノートをつくろう」（7分）　p.4～5  ・「授業ページ」におけるノートの例を参考にしながら，ノートのつくり方を学級で共有する。  ④「“新しい算数”を使った学習の進め方」（3分）　p.6～7  ・教科書の構成や記号の意味について調べたいときには，随時本ページを見るとよいことを伝える。  ・巻末にはオプション教材集「新しい算数 プラス」が設定されていること，その中の「ほじゅうのもんだい」（補充問題），「ふりかえりコーナー」（知識の振り返り），「おもしろもんだいにチャレンジ」（数学の世界での発展）があることを紹介し，適宜活用するとよいことを知らせる。  ※「指導者・保護者のみなさまへ」について  これらの記述はいずれも教科書の編集意図に加え，子どもたちが学習習慣（特に家庭での自学自習）を身につけるためには家庭での理解・協力が不可欠であると考え，掲載したものである。保護者の方々とも連携を図りながら，教科書を有効に活用していただきたい。 | 教科書を読み，以下のような内容を確認する。  ・（表紙裏～p.1）デジタルコンテンツの存在や使い方のルール  ・（p.4～5）ノートのつくり方，活かし方  ・（p.6～7）教科書の構成  可能であれば，教科書の展開に沿ってp.2～3の問題にも取り組み，算数の学習における問題解決や学習のしかたをイメージする。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 1．九九を見なおそう　［かけ算］ | | | 教科書の  ページ | 上p.8～25 |
| 配当時数 | 9時間  **授業 7時間**  **以外 2時間** | 活動時期 | 4月中旬～下旬 | 学習指導要領の内容 | A（3）ア（ｲ）（ｳ）, イ（ｱ）  内容の取扱い（3）（4） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 乗法に関して成り立つ性質やきまりなどの理解を深め，数学的表現を適切に活用して九九の範囲を超える計算の仕方を考える力を養うとともに，乗法の計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 乗法に関して成り立つ性質やきまりを理解し，それらを活用して被乗数や乗数が0や10の乗法計算をすることができる。 |
| 思考・判断・表現 | 乗法に関して成り立つ性質やきまりに着目し，九九の範囲を超える乗法の計算方法を，図や式などを用いて考え，表現している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 九九の範囲を超える乗法の計算方法について，図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) かけ算のきまり　　上p.8～19　5時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  上p.8 | ①九九を唱えたり，九九の問題を出し合ったり，その答えになる乗法の式を考えたりする活動を通して，九九の定着を確認するとともに，既習の九九を見直し理解を深めていくという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 乗数が1ずつ増減するときの乗数と積の変化の関係や乗法の交換法則の理解を深める。   上p.9～11 | ①乗数と積の関係や交換法則を使って，7×4の答えの見つけ方を考える。  ②各々の考えを発表し，他者の考えと比較する。  ③出された考えを整理し，乗数と積の関係や交換法則をまとめる。  ④適用問題に取り組む。 | 予習で，乗法九九を唱え，自身の定着具合を認識する。 |
| 2 | * 乗法の分配法則（被乗数を分解）を理解し，九九の答えを求めることができる。   上p.12 | ①被乗数を2つの数に分けて，9×7の答えの求め方を考える。  ②被乗数を分解しても積は変わらないことをまとめる。 |  |
| 3 | * 乗法の分配法則（乗数を分解）を理解し，九九の答えを求めることができる。   上p.13 | ①乗数を2つの数に分けた9×7の答えの求め方を考え，説明する。  ②被乗数を分解しても，乗数を分解しても，積は変わらないことをまとめる。 |  |
| 4 | * 被乗数や乗数が10のときの答えを，乗法に関して成り立つ性質やきまりを用いて考え，説明することができる。   上p.14 | 1. 10の段の答えを，累加の考えや既習の乗法の性質やきまりを用いて求める。   ②乗数が10のときの答えの求め方を乗法の性質やきまりを活用して答えを求め，九九表に記入する。 |  |
| 5 | 〔今日の深い学び〕   * 被乗数が10を超える場合の答えを，乗法に関して成り立つ性質やきまりを用いて考え，説明することができる。   上p.15～19 | ①12×4の答えのいろいろな求め方を考え，図や式を使って表す。  ＊デジタルコンテンツ設定有  ②他者の考えを読み取り，図や式に表す。  ③分配法則を用いたり，10といくつに分けたりすると，10より大きい数の乗法の答えを求められることをまとめる。 |  |
| (2) 0のかけ算　　上p.20～21　1時間 | | | |
| 6 | * 被乗数や乗数が0の場合の式の意味を理解し，計算の答えを求めることができる。   上p.20～21 | ①問題場面をとらえ，被乗数や乗数が0の場合の乗法の式について考える。  ②被乗数や乗数が0の場合も乗法の式に表せること，答えは0になることを確認し，まとめる。  ③表を基に，得点の取り方を式に表す。  ④式を基に，得点の取り方を考える。 |  |
| (3) かける数とかけられる数　　上p.22　1時間 | | | |
| 7 | * a×□＝b，□×a＝bの□にあてはまる数を九九を用いて求めることができる。   上p.22 | ①被乗数，または乗数が未知数の式で，乗法九九を適用して未知数を求める。 |  |
| まとめ　　上p.23～25　2時間(0時間) | | | |
| 8 | * 単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し，問題を解決する。   上p.23 | 〔いかしてみよう〕  ①九九の答えを活用した模様づくりに取り組む。 | **以外**で取り組む。できた模様について，気づいたことを整理する。 |
| 9 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   上p.24～25 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | おぼえているかな？ | | | 教科書の  ページ | 上p.26 |
| 配当時数 | ― | 活動時期 | 4月下旬 | 学習指導要領の内容 | ― |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| ― | * 既習内容の理解を確認する。   上p.26 | ①「おぼえているかな？」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 2．時こくと時間のもとめ方を考えよう　 ［時こくと時間のもとめ方］ | | | 教科書の  ページ | 上p.27～33，144 |
| 配当時数 | 4時間  **授業 3時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 4月下旬 | 学習指導要領の内容 | C（2）ア（ｱ）（ｲ）, イ（ｱ） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 秒について知り，時間に関する理解を深めるとともに，数学的表現を適切に用いて時刻や時間の求め方を考える力を養い，それらを今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 秒について知り，他の時間の単位との関係を理解するとともに，時刻や時間を求めることができる。 |
| 思考・判断・表現 | 時間の単位に着目し，時間を既習の量と統合的にとらえるとともに，図などを用いて時刻や時間の求め方を考え，説明している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 時刻や時間に関心をもち，数学的に表現・処理したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 時こくと時間のもとめ方　　上p.27～31　2時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  上p.27 | ①時刻や時間について，町探検の計画を立てる場面を通し，時刻や時間の求め方を考えるという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * ある時刻から一定時間後の時刻や2つの時刻の間の時間を求めることができる。   上p.28～29 | ①8時40分から30分後の時刻や，9時50分から10時10分までの時間を，模型時計や数直線を手がかりにして求める。  ＊デジタルコンテンツ設定有 | 予習で，p.27の白枠内の場面をとらえ，時刻と時間の意味を振り返る。また，りくの吹き出しの□にあてはまることばを考え，ノートに書く。 |
| 2 | * ある時刻から一定時間前の時刻や時間と時間の和を求めることができる。   上p.30～31 | ①11時10分の30分前の時刻を，模型時計や数直線を手がかりにして求める。  ②40分と30分を合わせた時間を，数直線を手がかりにして求める。 |  |
| (2) 短い時間　　上p.32　1時間 | | | |
| 3 | * 時間を表す単位「秒」について知り，分と秒の単位関係を理解する。   上p.32 | ①1分より短い時間の表し方について考える。  ②時間の単位「秒」や，1分＝60秒の関係を知る。  ③秒の針の動きに合わせて手を打ったり，目をつぶって1分経過したと思ったら手を挙げたりする量感を養う活動に取り組む。 |  |
| まとめ　　上p.33，144　1時間(0時間) | | | |
| 4 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   上p.33 | ①「たしかめよう」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| * 【発展】巻末p.144の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み，単元の学習内容を基に時刻と時間の求め方についての理解を深める。 | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 3．同じ数ずつ分けるときの計算を考えよう ［わり算］ | | | 教科書の  ページ | 上p.34～46，145 |
| 配当時数 | 9時間  **授業 8時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 5月上旬～中旬 | 学習指導要領の内容 | A（4）ア（ｱ）（ｲ）（ｳ）（ｴ）, イ（ｱ）（ｲ） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 除法の意味について理解し，乗法九九１回適用の除法計算の仕方を図や式を用いて考える力を養うとともに，除法の計算方法を数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 除法が用いられる場合や除法と乗法などとの関係について知り，除法の意味について理解するとともに，除法計算をすることができる。 |
| 思考・判断・表現 | 数量の関係に着目し，等分除と包含除を除法として統合してとらえるとともに，具体物や図，式を用いて計算の仕方を考え表現している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 除法の意味や計算方法について，式や図などを用いて考えた過程や結果を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 1人分の数をもとめる計算　　上p.34～38　3時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  上p.34 | ①p.34の絵を提示し，等分と不等分について話し合うことを通して，同じ数ずつ分けるときの計算を考えるという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 除法に関する用語，記号を知り，等分除の意味について理解する。   上p.35～37 | ①同じ数ずつ分ける場面であることをとらえる。  ②12個のクッキーを3人で等分すると1人分は何個になるかを，半具体物を操作して調べる。  ＊デジタルコンテンツ設定有  ③上記の操作結果を12÷3＝4と式に表すことを知る。 | 予習で，p.34の上の白枠内の場面をとらえ，分け方の違いや黄枠内の理由を考え，ノートに書く。 |
| 2 | ①適用問題に取り組む。  ②用語「わり算」を知る。 |
| 3 | * 等分除の場面から，分け方や分けた後の数量の関係を式に表し，答えの見つけ方を考え，説明することができる。   上p.37～38 | ①20÷5の答えを半具体物を使わずに見つける方法を考える。  ②□×5＝20の式から除数の段の九九を使うと答えが見つけられることをまとめる。 |  |
| (2) 何人に分けられるかをもとめる計算　　上p.39～43　4時間 | | | |
| 4 | * 包含除の場面も除法の式に表されることや，包含除の意味について理解する。   上p.39～41 | ①等分除との違いを確認する。  ②12個のパイを1人に3個ずつ分けると何人に分けられるかを半具体物を操作して調べる。  ＊デジタルコンテンツ設定有  ③上記の操作結果を12÷3＝4と除法の式に表すことを理解する。 |  |
| 5 | ①用語「わられる数」「わる数」を知る。  ②適用問題に取り組む。 |
| 6 | * 包含除の場面から，分け方や分けた後の数量の関係を式に表し，答えの見つけ方を考え，説明することができる。   上p.41～42 | ①20÷5の答えを半具体物を使わずに見つける方法を考える。  ②5×□＝20の式から除数の段の九九を使うと答えが見つけられることをまとめる。 |  |
| 7 | * 等分除と包含除を，「わり算」として統合的にとらえ，除法計算の答えを求めることができる。   上p.43 | ①6÷2の式になる問題をつくる。  ②等分除と包含除の問題を比べる。 |  |
| (3) 0や1のわり算　　上p.44　1時間 | | | |
| 8 | * 被除数が0の場合や被除数と除数が同じ数の場合の除法計算ができる。   上p.44 | ①クッキーを4人で分けたときの1人分の数を求める場面で，クッキーが8個，4個のときを順に考え，1個もないときは何個になるかを考える。  ②クッキーが1個もないときも0÷4＝0と除法の式に表すことを知る。 |  |
| まとめ　　上p.45～46，145　1時間(0時間) | | | |
| 9 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   上p.45～46 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| * 【発展】巻末p.145の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み，単元の学習内容を基に除法の活用についての理解を深める。 | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | おぼえているかな？ | | | 教科書の  ページ | 上p.47 |
| 配当時数 | ― | 活動時期 | 5月中旬 | 学習指導要領の内容 | ― |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| ― | * 既習内容の理解を確認する。   上p.47 | ①「おぼえているかな？」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 4．大きい数の筆算を考えよう　 ［たし算とひき算の筆算］ | | | 教科書の  ページ | 上p.48～57，146 |
| 配当時数 | 8時間  **授業 7時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 5月下旬～ 6月上旬 | 学習指導要領の内容 | A（2）ア（ｱ）（ｲ）, イ（ｱ）  内容の取扱い（2） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 3～4位数の加減法の筆算の仕方を理解しその技能を身につけ，既習の数の構成や筆算の仕方を活用して筆算の仕方を考える力を養うとともに，筆算の仕方をまとめた過程を振り返り，既習と統合的にとらえようとしたり今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 3～4位数の加減法の筆算は，2位数などの基本的な加減法の筆算の仕方を基に考えればよいことを理解し，それらの計算をすることができる。 |
| 思考・判断・表現 | 数の構成に着目し，2～3位数の加減法の筆算の仕方を活用して3～4位数の加減法の筆算の仕方を図や式などを用いて考え表現し，筆算の仕方を一般化してまとめている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 3～4位数の加減法の筆算の仕方を，既習の筆算の仕方や，図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 3けたの数のたし算　　上p.48～50　2時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  上p.48 | ①p.48の式や筆算を提示し，今までに学んできた加減計算について振り返るとともに，新たな課題となる3～4位数の加減計算について考えるという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 3位数＋3位数の筆算の仕方を，数の構成や既習の加法の筆算の仕方を基に考え，説明することができる。   　　上p.49～50 | ①問題場面をとらえ，図を基に式を立てる。  ②既習内容を基に，365＋472の筆算の仕方を考える。  ③筆算の仕方（繰り上がりなし，一の位または十の位で繰り上がりあり）をまとめる。 | 予習で，p.48の既習の加減法の筆算に取り組み，単元の学習内容をイメージする。 |
| 2 | * 3位数＋3位数の筆算の仕方を理解し，答えを求めることができる。   　　上p.50 | ①347＋178，763＋459の筆算の仕方を考える。  ②筆算の仕方（一，十の位で繰り上がりあり，各位で繰り上がりあり）をまとめる。  ③練習問題に取り組む。 |  |
| (2) 3けたの数のひき算　　上p.51～53　3時間 | | | |
| 3 | * 3位数－3位数の筆算の仕方を，数の構成や既習の減法の筆算の仕方を基に考え，説明することができる。   　　上p.51 | ①場面をとらえ，図を基に式を立てる。  ②既習内容を基に，315－194の筆算の仕方を考える。  ③筆算の仕方（繰り下がりなし，一の位または十の位へ繰り下がりあり，一の位及び十の位へ繰り下がりあり）をまとめる。 |  |
| 4 | * 3位数－3位数の筆算（波及的繰り下がりあり）の仕方を，数の構成や既習の減法の筆算の仕方を基に考え，説明することができる。   　　上p.52～53 | ①402－175の筆算の仕方を考える。  ②筆算の仕方（一の位へ波及的繰り下がりあり）をまとめる。  ③練習問題に取り組む。 |  |
| 5 | * 1000－3位数の筆算の仕方を理解し，答えを求めることができる。   　　上p.53 | ①1000－265の計算の仕方を考える。  ②筆算の仕方をまとめる。 |  |
| (3) 大きい数の筆算　　上p.54～55　2時間 | | | |
| 6 | * 4位数を含む加減法の筆算の仕方を，既習の筆算の仕方を基に考え，説明することができる。   　　上p.54 | ①2483＋7156，7156－2483の計算の仕方を考える。  ②5102±4398の計算の仕方を考える。  ③計算の仕方をまとめる。 |  |
| 7 | * 4位数±4位数の計算の仕方を確実に身につけ，計算することができる。   　　上p.55 | ①4位数±4位数などの型の計算練習をして，数が大きくなっても加減筆算の仕方は変わらないことをまとめる。 |  |
| まとめ　　上p.56～57，146　1時間(0時間) | | | |
| 8 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   上p.56～57 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| * 【発展】巻末p.146の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み，単元の学習内容を基に加減法の筆算についての理解を深める。 | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 考える力をのばそう　「重なりに注目して」 | | | 教科書の  ページ | 上p.58～59 |
| 配当時数 | 1時間  **授業 0時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 6月上旬 | 学習指導要領の内容 | A（2）（7） |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | * 2つの量の重なる部分に着目する問題を通して，数量の関係を図に表し考える能力を伸ばす。   上p.58～59 | ①題意をとらえる。  ②テープ図の（　）にあてはまる数字を書いて図を完成させる。  ③図を見て様々な立式をし，答えの求め方を考える。  ④求め方を発表し，検討する。  ⑤2つの量の重なる部分を求める問題を解く。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 5．長い長さをはかって表そう　 ［長いものの長さのはかり方と表し方］ | | | 教科書の  ページ | 上p.60～69 |
| 配当時数 | ７時間  **授業 6時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 6月中旬～下旬 | 学習指導要領の内容 | C（1）ア（ｱ）（ｲ）, イ（ｱ） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 量の単位や測定について理解し適切に単位を用いて長さを表したり，およその見当をつけ計器を適切に選択して測定したりすることができるようにするとともに，数学的表現を適切に活用して既習の単位を含めた単位の関係を統合的に考える力を養い，身の回りのものの長さを測定した過程を振り返り，量感覚を身につけ，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 長さの単位（キロメートル(㎞)）や測定の意味を理解し，長さについての豊かな感覚をもつとともに，それらを活用して適切に長さを単位で表したりおよその見当をつけ適切な単位や計器を選択して測定したりすることができる。 |
| 思考・判断・表現 | 身の回りのものの長さや長さの単位に着目し，長さの測定の方法や単位の関係について説明している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 長さについての単位や計器を用いて身の回りのものの長さをはかったり，既習の単位との関係について考えたりしたことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 長いものの長さのはかり方　　上p.60～63　3時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  上p.60 | 1. p.60の写真を提示し，これまで学習してきた長さの単位や測定をした経験を振り返る活動を通して，1ｍより長いものの測定と表し方について考えるという単元の課題を設定する。   （所要時間は10分程度） | |
| * 長いものやまるいものの長さを測定するには，巻尺が適していることやその使い方を理解し，測定することができる。   上p.61～63 | ①運動マットの長さを測定するにはどうすればよいかを考える。  ②長いものの長さを測定するには，巻尺が適していることを知り，巻尺の目盛りの読み方を知る。 | 予習で，p.60の白枠内の問題に取り組み，既習の長さについての学習を振り返る。また，はるとの吹き出しの□にあてはまる単位を考え，ノートに書く。 |
| 2 ・ 3 | ①教室の縦と横の長さを巻尺で測定する。  ②長さの見当をつけてからいろいろなものの長さを巻尺で測定する。  ③測定対象に応じた計器を選択する。 |
| (2) 長い長さのたんい　　上p.64～66　1時間 | | | |
| 4 | * 距離や道のりの意味を知り，長さを表す単位「キロメートル（km）」について理解する。   上p.64～66 | ①「距離」と「道のり」の意味を知り，絵地図を見て距離や道のりを調べる。  ②長い道のりなどを表す単位「キロメートル（km）」を知る。  ③「ますりんつうしん」を読んで，昔の長さの単位「里」について知り，長さへの興味・関心を高める。 | 左記③を**以外**で行うことにより，長さに対する理解を深める。  授業では，①，②により時間をかけ丁寧な指導を行う。 |
| まとめ　　上p.67～69　3時間(1時間) | | | |
| 5 ・ 6 | * 単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し，問題を解決する。   上p.67 | 〔いかしてみよう〕  ①10mの距離を予想し，巻尺を用いて確認する。  ②1kmを歩いてかかった時間や歩数を調べ，その長さを体感する。 |  |
| 7 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   上p.68～69 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 6．数をよく見て暗算で計算しよう　［暗算］ | | | 教科書の  ページ | 上p.70～73 |
| 配当時数 | 3時間 | 活動時期 | 6月下旬 | 学習指導要領の内容 | A（2）ア（ｲ）, イ（ｱ）  内容の取扱い（2） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 2位数どうしの加減法の暗算について理解し，計算することができるようにするとともに，数学的表現を適切に活用して暗算による計算の仕方を考える力を養い，暗算のよさを振り返り，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 被減数が100の減法の暗算や2位数どうしの加減法を暗算で計算することができる。 |
| 思考・判断・表現 | 数の構成や加減法に関して成り立つ性質に着目して，暗算による計算の仕方を工夫して考え，説明している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 2位数どうしの加減法を暗算で計算したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 暗算　　上p.70～73　3時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  上p.70 | ①教科書p.70の写真を見て，筆算を用いずに代金やおつりを求める活動を通して，工夫して計算することで筆算を用いずに加減の計算をすることができるようになるという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 被減数が100の暗算の仕方を，数の構成を基に考え，説明することができる。   上p.71～72 | ①100－79の計算を暗算でする方法を考え，説明する。  ②問題場面を理解し，100－62の計算などを暗算でする方法を考え，説明する。 | 予習で，p.70の黄枠内の文章を読んで場面をとらえ，あみ，はるとの吹き出し内の□にあてはまる数をノートに書く。 |
| 2 | * 数の構成を基に，2位数どうしの加減法の暗算による計算の仕方を説明することができる。   上p.72～73 | ①44＋29や52－38の暗算の仕方を考え，説明する。 |  |
| 3 | * 2位数どうしの加減法の暗算による計算の仕方を理解し，その暗算をすることができる。   上p.73 | ①2位数どうしの加減法を暗算を用いて計算する。 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 7．わり算を考えよう　［あまりのあるわり算］ | | | 教科書の  ページ | 上p.74～83，146 |
| 配当時数 | 7時間  **授業 6時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 7月上旬～中旬 | 学習指導要領の内容 | A（4）ア（ｱ）（ｲ）（ｳ）（ｴ）, イ（ｱ）（ｲ） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | わり切れない場合の除法や余りについて理解し，計算することができるようにするとともに，数学的表現を適切に活用して，除法の意味や計算の仕方を具体物や図，式を用いて表す力を養うとともに，問題場面における数量の関係に着目し，数理的に処理した過程を振り返り，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | わり切れない場合の除法の計算や余りと除数の大小関係について理解し，それらを活用して数量の関係をとらえることができる。 |
| 思考・判断・表現 | 数量の関係に着目し，わり切れる場合とわり切れない場合の除法を統合してとらえ，除法の意味や計算に成り立つ性質について考え，説明している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 日常生活の問題を解決した過程や得られた結果を吟味したことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) あまりのあるわり算　　上p.74～80　5時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  上p.74 | ①教科書p.74のイラストを見て，既習の余りのない除法の計算についての話し合いを通して，余りのある除法の意味や計算の仕方を考えるという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 除数と商が1位数の除法で，わり切れない場合の計算の仕方を理解する。   上p.75～76 | ①14÷3の答えの見つけ方を考える。  ②計算結果を式に表すと14÷3＝4余り2となることを知る。  ③わり算には，わり切れるときとわり切れないときがあることを知る。 | 予習で，p.74の白枠内の問題に取り組み，単元の学習内容をイメージする。 |
| 2 | * 余りと除数の関係を理解する。   上p.77 | ①13÷4の計算について余りと除数の関係を調べる。 |  |
| 3 | * 等分除の計算についても，包含除の計算の方法を基に考え，説明することができる。   上p.78 | ①題意をとらえ，16÷3と立式し，答えの見つけ方を考える。  ②文章問題に取り組む。 |  |
| 4 | * わり切れない場合の除法の計算について，答えの確かめ方を理解する。   上p.79 | ①わり切れない場合を含む除法の答えの確かめ方を考える。 |  |
| 5 | * わり切れない場合を含む，除法の計算ができる。   上p.80 | ①計算練習と答えの確かめをする。  ＊デジタルコンテンツ設定有 | 可能であれば，復習で，デジタルコンテンツを使った計算練習問題に取り組む。 |
| (2) あまりを考える問題　　上p.81　1時間 | | | |
| 6 | * 余りのとらえ方について理解を深める。   上p.81 | ①題意をとらえ，23÷4と立式し，計算して答えを求める。  ②計算では5余り3だが，答えを5としてよいか話し合う。  ③答えは商＋1になることをまとめる。  ④題意をとらえ，30÷4と立式し，計算して答えを求める。  ⑤計算では7余り2だが，商をそのまま答えとしてよいか，それとも商＋1とすべきかを話し合う。 |  |
| まとめ　　上p.82～83，146　1時間(0時間) | | | |
| 7 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   上p.82～83 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| * 【発展】巻末p.146の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み，単元の学習内容を基に余りと規則性についての理解を深める。 | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 8．10000より大きい数を調べよう　 ［大きい数のしくみ］ | | | 教科書の  ページ | 上p.84～97，147 |
| 配当時数 | 10時間  **授業 9時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 9月上旬～中旬 | 学習指導要領の内容 | A（1）ア（ｱ）（ｲ）（ｳ）,  イ（ｱ）　 内容の取扱い（1） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 万の単位や1億までの整数について知り，十進位取り記数法や4桁区切りによる命数法（万進法）を基に，大きな数の読み方や計算の仕方を考えるとともに，整数の表し方について数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 万の単位や1億までの整数を知り，十進位取り記数法についての理解を深めるとともに，10倍，100倍，1000倍，1/10にした数や，数や式の相等，大小関係を等号や不等号を用いて表す方法を理解している。 |
| 思考・判断・表現 | 数の構成や仕組みに着目し，万の単位を用いた数の仕組みについて類推して考え，大きな数の大小の比べ方や表し方を統合的にとらえ，説明している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 1億までの数の仕組みや表し方について，統合的にとらえた過程や結果を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 数の表し方　　上p.84～93　7時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  上p.84 | ①教科書p.84の写真を提示し，身の回りで見かける大きい数を読んだり表したりする活動や既習の大きい数についての自由な話し合いなどを通して，「10000」より大きい数について考えるという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 一万の位までの数の読み方や書き方，構成や命数法について，数の見方や既習の整数の表し方を基に考え，理解する。   上p.85～86 | ①絵を見て，入場券の枚数を数える。  ②24153の数の構成と命数法をまとめる。  ③入場券の枚数を数字で表す。  ④「一万の位」を知る。  ＊デジタルコンテンツ設定有 | 予習で，p.84の白枠内の問題に取り組み，ノートに書く。 |
| 2 | * 十万，百万，千万の数の仕組みと千万の位までの読み方や書き方，数の構成について理解する。   上p.87～88 | ①一万を10こ集めた数を「十万」といい，「100000」と書くことを知る。  ②一万～千万の数の仕組みを考え，それぞれ10こ分の関係になっていることをまとめる。  ③一万の位の左から順に「十万の位，百万の位，千万の位」ということを知る。 |  |
| 3 | ①適用問題に取り組む。 |
| 4 | * 数の相対的な大きさについて，1000を基に考え，説明することができる。   上p.89 | ①1000を23こ集めた数はいくつかを考える。  ②34000は1000を何こ集めた数かを考える。 |  |
| 5 | * 1万より大きい数の大小や順序について理解し，「一億」について知る。   上p.90～91 | ①数直線を基に，数の大小や順序について考える。  ②「一億」について知る。 |  |
| 6 | * 数や式の相等関係や大小関係の表し方を理解する。   上p.92 | ①数の構成に基づく，大きい数の計算の仕方を考える。  ②□にあてはまる，「＝，＞，＜」の記号を書く。  ③「等号」「不等号」の用語と意味についてまとめる。 |  |
| 7 | * 数の構成を多面的にとらえ，数の見方を豊かにする。   上p.93 | ①16000について，いろいろな表し方を考え，言葉や式で表す。  ②式に表された，他者の考えを読み取り，表現する。 |  |
| (2) 10倍した数と10でわった数　　上p.94～95　2時間 | | | |
| 8 | * 整数を10倍した数，10でわった数の表し方を理解する。   上p.94～95 | ①25の10倍の数を考える。  ②もとの数と10倍した数の並び方を比べる。  ③250を10でわった数を考える。 |  |
| 9 | * 100倍，1000倍した数の表し方を位の移り方を基に説明することができる。   上p.95 | ①25の10倍を10倍した数を考える。  ②25の10倍を10倍し，さらに10倍した数を考える。  ③25を1000倍した数を考える。  ④もとの数を10倍，100倍，1000倍した数の位の上がり方についてまとめる。 |  |
| まとめ　　上p.96～97，147　1時間(0時間) | | | |
| 10 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   上p.96～97 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| * 【発展】巻末p.147の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み，単元の学習内容を基に一億までの数についての理解を深める。 | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 9．大きい数のかけ算のしかたを考えよう ［かけ算の筆算(1)］ | | | 教科書の  ページ | 上p.98～112，147 |
| 配当時数 | 11時間  **授業 10時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 9月下旬～ 10月上旬 | 学習指導要領の内容 | A（3）ア（ｱ）（ｲ）（ｳ）,  イ（ｱ）  内容の取扱い（2）（4） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 2位数や3位数に1位数をかける乗法の計算の仕方について理解し，確実に計算することや成り立つ性質について理解できるようにするとともに，数学的表現を適切に活用して，乗法の成り立つ性質を活用したり，計算を確かめたりしながら，計算した過程を振り返り，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 2～3位数×1位数の乗法の筆算の仕方を理解し，それらを活用して計算することができる。 |
| 思考・判断・表現 | 数の構成や既習の乗法計算に着目し，2～3位数×1位数の筆算について考え，説明している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 2～3位数×1位数の筆算の仕方について，乗法九九などの基本的な計算を基に考えたことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 何十，何百のかけ算　　上p.98～101　2時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  上p.98 | ①かけ算の表の空欄の求め方を考える活動を通して，2～3位数に1位数をかける乗法の計算の仕方や性質を理解するという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 何十，何百に1位数をかける計算の仕方について，10や100を基に考え，説明することができる。   上p.99～101 | ①20×3の計算の仕方を考える。  ②その式を立てた理由を説明する。  ③200×3の計算の仕方を考える。 | 予習で，p.98の白枠内の活動に取り組み，単元の学習内容をイメージする。 |
| 2 | ①2×3，20×3，200×3の式を比較する。  ②被乗数が10倍になると，答えも10倍になっていることをまとめる。  ③被乗数が100倍になると答えも100倍になることをまとめる。 |
| (2) 2けたの数に1けたの数をかける計算　　上p.101～106　5時間 | | | |
| 3 | * 2位数×1位数（部分積がみな1桁）の筆算の仕方について理解し，その計算ができる。   上p.101～103 | ①問題場面をとらえ，立式する。  ②23×3の計算の仕方を，アレイ図や模擬貨幣を使ったり数操作をしたりして考え，答えを求める。 |  |
| 4 | ①23×3の筆算の仕方をまとめる。  ②適用問題に取り組む。 |
| 5 | * 2位数×1位数（一の位の数との部分積が2桁）の筆算の仕方について理解し，その計算ができる。   上p.104 | ①1辺16cmの正方形の周長を求める式を立てる。  ②16×4の筆算の仕方を考える。 |  |
| 6 | * 2位数×1位数（十の位の数との部分積が2桁，及び部分積がみな2桁）の筆算の仕方について理解し，その計算ができる。   上p.105 | ①42×3，58×3の筆算の仕方を考える。  ②筆算の仕方をまとめる。 |  |
| 7 | * 2位数×1位数（部分積を加えたときに百の位に繰り上がりあり）の筆算の仕方について理解し，その計算ができる。   上p.106 | ①29×4，76×4の筆算の仕方を考える。 |  |
| (3) 3けたの数に1けたの数をかける計算　　上p.107～110　3時間 | | | |
| 8 | * 3位数×1位数（部分積がみな1桁）の筆算の仕方について，2位数×1位数の筆算の仕方を基に考え，説明することができる。   上p.107～108 | ①問題場面をとらえ，立式する。  ②312×3の計算の仕方を考える。  ③312×3の筆算の仕方を考える。  ④筆算の仕方をまとめる。 |  |
| 9 | * 3位数×1位数（部分積がみな2桁，及び部分積を加えたときに繰り上がりあり）の筆算の仕方について，既習の乗法の筆算の仕方を基に考え，説明することができる。   上p.109 | ①386×2の筆算の仕方を考える。  ②937×4の筆算の仕方を考える。 |  |
| 10 | * 3つの数の乗法が1つの式に表せることを知り，乗法の結合法則について理解する。   上p.110 | ①問題場面をとらえ，代金の求め方について考える。  ②場面を3つの数の乗法の式で表す。  ③3つの数の乗法の結合法則をまとめる。 |  |
| まとめ　　上p.111～112，147　1時間(0時間) | | | |
| 11 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   上p.111～112 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| * 【発展】巻末p.147の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み，単元の学習内容を基に2～3位数×1位数の乗法の筆算についての理解を深める。 | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | おぼえているかな？ | | | 教科書の  ページ | 上p.113 |
| 配当時数 | ― | 活動時期 | 10月上旬 | 学習指導要領の内容 | ― |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| ― | * 既習内容の理解を確認する。   上p.113 | ①「おぼえているかな？」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 10．わり算や分数を考えよう　 ［大きい数のわり算，分数とわり算］ | | | 教科書の  ページ | 上p.114～117 |
| 配当時数 | 4時間 | 活動時期 | 10月中旬 | 学習指導要領の内容 | A（4）ア（ｵ）, イ（ｱ）（ｲ） （6）ア（ｱ）, イ（ｱ） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 簡単な場合について，除数が1位数で商が2位数の除法の計算の仕方や分数と除法の関係について理解し，計算ができるようにするとともに，数学的表現を適切に活用して計算方法や問題場面における分数の意味について考える力を養い，既習の計算方法や分数を除法としてみた過程を振り返り，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | * 簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方について理解し，計算することができる。 * 分数で表される場面を適切にとらえ，除法を用いて答えを求めることができる。 |
| 思考・判断・表現 | * 簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方について，既習の計算の仕方や図などを用いて，数の構成に着目して考え，説明している。 * 等分することや分数の意味に着目して，分数で表されている場面について，除法を用いて計算することを考え，説明している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | * 簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方について，具体物や図，式を関連づけたり，既習の計算の仕方などを基に考えたりしながら，その過程を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 * 分数と除法の関係やもとの数と分数の関係を考えた過程を振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 大きい数のわり算　　上p.114～115　2時間  ※本小単元の内容は，「スパイラルのため重複させる内容」であり，次学年で確実な習得をねらう。 | | | |
| 1 | * 60÷3などの計算の仕方を，既習の除法計算の仕方や数の構成を基に考え，説明することができる。   上p.114 | ①60÷3の計算の仕方を，60を10の6こ分ととらえて既習の計算を使って考える。  ②適用問題に取り組む。 | 予習で，p.114の問題１を読み，ノートに式をかく。 |
| 2 | * 69÷3などの計算の仕方を，既習の除法計算の仕方や数の構成を基に考え，説明することができる。   上p.115 | ①69÷3の計算の仕方を，69を60と9に分けて考える。  ②適用問題に取り組む。 |  |
| (2) 分数とわり算　　上p.116～117　2時間 | | | |
| 3 | * 分数で表された数を除法の計算を用いて求めることができる。   上p.116 | ①80cmの1/4の長さの求め方を考える。  ②分数で表された数を除法を用いて表すことができることを知る。 |  |
| 4 | * もとの大きさが異なるものの等分した数について理解する。   上p.117 | ①84cmや88cmの1/4の長さを求める。  ②もとの長さの1/4の長さが異なる理由を考える。  ③もとの大きさと分数の関係をまとめる。 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | どんな計算になるのかな？ | | | 教科書の  ページ | 上p.118～119 |
| 配当時数 | 1時間 | 活動時期 | 10月中旬 | 学習指導要領の内容 | A（2）（3）（4） |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | * 加減乗除法を適用して問題を解決することを通して，演算を決定する能力を伸ばす。   上p.118～119 | ①問題文を読み，それぞれどんな式を立てればよいかを考えて解決する。  ②絵を見て作問し，解決する。 | ※実態によっては，**以外**での扱いとすることも考えられる。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 11．まるい形を調べよう　［円と球］ | | | 教科書の  ページ | 上p.120～132 |
| 配当時数 | 8時間  **授業 6時間**  **以外 2時間** | 活動時期 | 10月下旬 | 学習指導要領の内容 | B（1）ア（ｳ）, イ（ｱ）  内容の取扱い（6） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 円や球を構成する要素や性質について理解し，コンパスを用いた作図や長さをはかり取ったり移したりすることができるようにするとともに，数学的表現を適切に活用して構成の仕方や身の回りのものを円や球として考える力を養い，図形をかいたり確かめたりする活動を振り返り，今後の生活や学習に活用しようとしている。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 円の中心や半径，直径について，円に関連して球の直径などを理解し，それらを活用してコンパスで円をかいたり，等しい長さをはかり取ったり移したりすることができる。 |
| 思考・判断・表現 | 円や球を構成する要素に着目し，構成の仕方や身の回りのものに図形の性質がどのように活用されているかについて考え，説明している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 円や既習の図形の作図を基に模様をかくなどの活動を通して，身の回りから円や球を見つけたり，図形のもつ美しさに関心をもったりしたことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 円　　上p.120～127　5時間 ★他教科との関連：英語 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  上p.120 | ①教科書p.120の写真を提示し，身の回りにある図形について振り返る活動を通して，円や球の説明ができないことに気づかせ，円や球の構成の仕方や性質をとらえるという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 中心，半径の用語を知り，円の構成の仕方や性質について理解する。   上p.121～123 | ①かごからの距離が同じになる並び方を考え，並び方を線で表す。  ②かごからの距離が同じになるように並ぶとき，人数が増えればきれいなまるい形になることをとらえる。 | 予習で，p.120の白枠内の写真を見て，図形の名称や特徴を考え，ノートに書く。 |
| 2 | ①p.153の簡易コンパスを使って，円をかく。  ②「円」の定義，及び「中心」「半径」の意味を知る。  ③1つの円に半径となる線をたくさんひいて，半径は無数にあることや，どれも同じ長さであることを確認する。  ④身の回りから，円の形をしたものを探す。 |
| 3 | * 直径の意味や直径と半径の関係を理解する。   上p.123～124 | ①円の中心の見つけ方を考える。  ②「直径」の意味を知る。  ③直径と半径の長さの関係をまとめる。  ④円周上の2点を結ぶ直線のうち，最長のものが直径であることを確認する。 |  |
| 4 | * コンパスを使って，円をかくことができる。   上p.125 | ①円をかくにはコンパスを使うと便利であることを知る。  ②コンパスの使い方に注意して，指定された半径の円をかく。  ＊デジタルコンテンツ設定有  ③コンパスを使って，模様作りに取り組む。 |  |
| 5 | * コンパスは等しい長さをはかり取ったり移したりすることができることを理解する。   上p.126～127 | ①直線と折れ線の長さを比較する方法を考える。  ②コンパスの機能をとらえ，長さの比較に用いる。  ③p.127の絵を使って，コンパスの機能を活用し，指定された場所を探す活動に取り組む。 |  |
| (2) 球　　上p.128～129　1時間 | | | |
| 6 | * 球の特徴について理解する。   上p.128～129 | ①ボールなどの具体物を真上や真横から観察する。  ②球の特徴を調べる。  ＊デジタルコンテンツ設定有  ③「球」や球の「中心」，「半径」，「直径」について知る。  ④球の形をしたものの直径の長さをはかる。  ⑤「ますりんつうしん」を読んで，「直径」「半径」の漢字の意味を知り，用語の意味の理解を深める。 | 左記⑤を**以外**で行うことにより，球に対する理解を深める。  授業では，①～④により時間をかけ丁寧な指導を行う。 |
| まとめ　　上p.130～132　2時間(0時間) | | | |
| 7 | * 単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し，問題を解決する。   上p.130 | 〔いかしてみよう〕  ①コンパスで円をかく活動を通して模様をかき，こまを作る。  ②円と球の関係を具体物を用いて考える。 | **以外**で取り組む。①は，どのようにして模様をかいたかを整理する。②は，回転させたときに気づいたことを整理する。 |
| 8 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   上p.131～132 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | かたちであそぼう　「タングラム」 | | | 教科書の  ページ | 上p.134 |
| 配当時数 | ― | 活動時期 | ― | 学習指導要領の内容 | ― |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| ― | * 基本図形を組み合わせていろいろな形を作る活動を通して，図形に親しみ，その楽しさを味わう。   上p.134 | ①正方形を7分割した基本図形を使って，他の基本図形やいろいろな具体物の形を作る。  ＊デジタルコンテンツ設定有 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 12．数の表し方やしくみを調べよう　［小数］ | | | 教科書の  ページ | 下p.2～20 |
| 配当時数 | 12時間  **授業 10時間**  **以外 2時間** | 活動時期 | 11月上旬～ 中旬 | 学習指導要領の内容 | A（5）ア（ｱ）（ｲ）, イ（ｱ） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 小数の意味や表し方について理解し，加法及び減法の計算ができるようにするとともに，数学的表現を適切に活用して小数の表し方や仕組み，計算の仕方を整数の十進構造と関連づけて考え，小数の意味や表し方について振り返り，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 端数部分の大きさを表す際に小数を用いることや小数の仕組みについて理解し，それらを活用して1/10の位までの小数の加減法の計算をすることができる。 |
| 思考・判断・表現 | 数の表現や数のまとまりに着目し，小数の記数法は整数の十進位取り記数法を拡張したものととらえ，小数の大小関係や加減法の計算について考え，説明している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 小数の意味や表し方，加減法の計算の仕方について，図や式などの数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，数理的な処理のよさに気づき，今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 1より小さい数の表し方　　下p.2～7　4時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  下p.2 | ①p.2の写真を提示し，身の回りにある数の並びが同じで小数点のあるものとないものの数を話題として取り上げ，話し合い活動を通して，小数の表し方や仕組みを理解するという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 整数で表せない端数部分の大きさの表し方を，既習の数の仕組みや単位の学習に着目して考え，説明することができる。   下p.3～5 | ①水を1Lのますではかったときの1Lに満たないかさの表し方を考える。  ②1Lを10等分した1こ分のかさを「0.1L」ということを知る。  ③端数部分のかさは0.1Lの3こ分で0.3L，1Lとあわせて1.3Lになることを知る。 | 予習で，p.2の白枠内の写真の数字を見て，気づいたことをノートに書く。 |
| 2 | ①前時の学習を振り返りながら小数を使って端数部分の大きさを表す。  ②用語「小数」「小数点」「整数」を知る。 |  |
| 3 | * 長さ（cm）の端数部分の表し方を，水のかさを小数で表したことを基に考え，説明することができる。   下p.6 | ①8cm7mmのテープの長さをcm単位で表すことを考える。  ②長さについて，小数を使った単名数での表し方を考える。 |  |
| 4 | * 数直線の1目盛りの大きさに着目して，数直線上の小数を表す目盛りを読んだり，小数を数直線に表したりする方法を考え，説明することができる。   下p.7 | ①数直線に表された小数を読んだり，数直線に小数を表したりする。  ②小数の相対的な大きさについて考え　　　る。 |  |
| (2) 小数のしくみ　　下p.8～9　2時間 | | | |
| 5 | * 用語「小数第一位」を知り， 小数の位取りの仕組みや数の構成を理解する。   下p.8 | ①147.2の構成について考える。  ②用語「小数第一位」を知る。  ③位取り表と数カードを使って，147.2の構成をとらえる。 |  |
| 6 | * 小数の大小関係について理解する。   下p.9 | ①数直線を使って，小数の大小を考える。  ②小数の大小を比較するときには，整数の場合と同じように，位の数字に着目すればよいことをまとめる。 |  |
| (3) 小数のしくみとたし算，ひき算　　下p.10～12　3時間 | | | |
| 7 | * 小数の表し方と仕組みに着目し，小数第一位どうしの小数の加法計算の仕方を考え，説明することができる。   下p.10 | ①場面をとらえ，立式する。  ②0.3＋0.2の計算の仕方を，0.1を基にして3＋2の計算に帰着して考える。  ③既習の30＋20と0.3＋0.2を統合的にとらえる。 |  |
| 8 | * 小数の表し方と仕組みに着目し，小数第一位どうしや1から小数をひく減法計算の仕方を考え，説明することができる。   下p.11 | ①場面をとらえ，立式する。  ②前時の学習を使って，0.5－0.2の計算の仕方を考える。  ③前時と同様に，0.5－0.2の計算を，0.1を基にして5－2の計算に帰着して考える。  ④0.1を基にすると，小数の加減法の計算は整数の加減法の計算方法に帰着して考えられることをまとめる。 |  |
| 9 | * 小数第一位までの小数の加減法の筆算の仕方を理解し，それらの計算をすることができる。   下p.12 | ①2.5＋1.8の筆算の仕方を考える。  ②小数第一位までの小数の加法の筆算の仕方をまとめる。  ③4.3－1.8の筆算の仕方を考える。  ④1.2＋2.8，4.2－3.5，5－1.4の筆算の仕方を考える。  ＊デジタルコンテンツ設定有 | 可能であれば，復習で，デジタルコンテンツを使った計算練習問題に取り組む。 |
| (4) 小数のいろいろな見方　　下p.13～17　1時間 | | | |
| 10 | 〔今日の深い学び〕   * 小数の仕組みや数の構成に着目し，小数について多様な見方や表し方を考え，表現することができる。   下p.13～17 | ①2.8を数直線に表し，いろいろな見方や表し方を考える。  ②他者の考えを読み取り，図や式や数直線で表す。  ③小数は，数の構成や相対的な大きさを基にするといろいろな表し方ができることをまとめる。 |  |
| まとめ　　下p.18～20　2時間(0時間) | | | |
| 11 | * 単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し，問題を解決する。   下p.18 | 〔いかしてみよう〕  ①小数を用いて表された身の回りの道のりや距離を読み取り，問題解決に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| 12 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   下p.19～20 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | おぼえているかな？ | | | 教科書の  ページ | 下p.21 |
| 配当時数 | ― | 活動時期 | 11月中旬 | 学習指導要領の内容 | ― |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| ― | * 既習内容の理解を確認する。   下p.21 | ①「おぼえているかな？」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 13．重さをはかって表そう　 ［重さのたんいとはかり方］ | | | 教科書の  ページ | 下p.22～34，125 |
| 配当時数 | 9時間  **授業 8時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 11月中旬～ 下旬 | 学習指導要領の内容 | C（1）ア（ｱ）（ｲ）, イ（ｱ）  内容の取扱い（7） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 重さの単位と測定について理解し，適切に単位を用いて重さを表したり，およその見当をつけ計器を適切に選択して測定したりできるようにするとともに，数学的表現を適切に活用して単位の関係を統合的に考える力を養い，重さの表し方について考えた過程を振り返り，量感覚を身につけ，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 重さについて，単位や単位の関係を理解し，およその見当をつけ，適切な計器を選んで測定することができる。 |
| 思考・判断・表現 | 身の回りのものの重さやその単位に着目し，量感覚を身につけたり，単位の関係を統合的に考え，説明したりしている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 身の回りにあるものの重さやそれらを数値化することのよさ，普遍単位の必要性を振り返り，数理的な処理のよさに気づき，今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 重さのくらべ方　　下p.22～25　3時間 ★他教科との関連：理科 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  下p.22 | ①p.22の写真を提示し，物の大きさと重さ，重さの保存性についての話し合い活動を通して，重さの比較や測定について理解するという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 身の回りのものの重さについて，道具や基にする大きさを定め，比較する方法を考え，説明することができる。   下p.23～24 | ①いろいろな文房具などの重さの比べ方を考える。  ②どちらがどれだけ重いかを調べる方法を考える。 | 予習で，p.22の白枠内の問題を見て，下段のあみやみさき，はるとの吹き出しの続きを考え，ノートに書く。 |
| 2 | ①積み木や１円玉など，適当な任意単位を使って比べ，表にまとめる。  ②1円玉と自作てんびんを使って，いろいろなものの重さを測定する。 |
| 3 | * 単位の必要性を認め，重さを表す単位「グラム（g）」を用いて，身の回りのものの重さについて表し方を理解する。   下p.25 | ①重さの単位「グラム(g）」を知る。  ②測定前におよその見当をつける。 |  |
| (2) はかりの使い方　　下p.26～32　5時間 | | | |
| 4 | * 重さを測定する計器としてはかりがあることを知り，目盛りの読み方を理解する。   下p.26～27 | ①重さとはかりの針の動き方の関係をとらえる。  ＊デジタルコンテンツ設定有  ②秤量1kgのはかりの目盛りの読み方を調べて，目盛りを読む。  ③はかりを使う際の留意事項をまとめる。 |  |
| 5 | * 重さを表す単位「キログラム（kg）」，1kg＝1000gの関係を理解する。   下p.28～29 | ①重さの単位「キログラム(kg)」，1kg＝1000gの関係を理解する。  ②秤量2kgのはかりの目盛りを読む。 |  |
| 6 | * 正味，風袋，全体の重さの関係を知り，重さの加法性や測定の仕方の工夫について理解する。   下p.30 | ①荷物の重さや箱の重さ，全体の重さの関係を線分図を用いて整理し，計算する。  ②いろいろなものを使って，1kgの重さをつくる活動に取り組む。 |  |
| 7 | * 重いものの重さを表す単位「トン(t)」，1ｔ＝1000kgの関係を理解する。   下p.31 | ①重さの単位「トン(t)」，1t＝1000kgの関係を理解する。  ②6000kg，3000kg，2100kgをtを使って表す。 |  |
| 8 | * 長さや重さ，体積などの既習の単位について，それぞれの量の単位の関係を基に考え，接頭語と単位の関係について説明することができる。   下p.32 | ①既習の単位を振り返り，接頭語「キロ(k)」「ミリ(m)」に着目する。  ②接頭語キロ(k)が1000倍を意味していることや接頭語ミリ(m)がつく単位で表される量を1000倍するとミリ(m)がとれることなどをおさえる。  ③単位の関係を活用した単位換算に取り組む。 |  |
| まとめ　　下p.33～34，125　1時間(0時間) | | | |
| 9 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   下p.33～34 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| * 【発展】巻末p.125の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み，単元の学習内容を基に重さについての見方や考え方を広げる。 | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | おぼえているかな？ | | | 教科書の  ページ | 下p.35 |
| 配当時数 | ― | 活動時期 | 11月下旬 | 学習指導要領の内容 | ― |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| ― | * 既習内容の理解を確認する。   下p.35 | ①「おぼえているかな？」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 14．分数を使った大きさの表し方を  調べよう ［分数］ | | | 教科書の  ページ | 下p.36～49，126 |
| 配当時数 | 10時間  **授業 9時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 12月上旬～ 中旬 | 学習指導要領の内容 | A（6）ア（ｱ）（ｲ）（ｳ）,  イ（ｱ）  内容の取扱い（5） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 分数の意味や分数を用いた大きさの表し方を理解し，分数の加法及び減法の計算ができるようにするとともに，数学的表現を適切に活用して分数での端数部分の表し方や小数との関係を考える力を養い，分数の仕組みを用いて考えた過程を振り返り，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 端数部分を表す数や大きさを表す数としての分数やその表し方を理解し，それらを活用して分数の加減法の計算や分母が10の分数と1/10の位までの小数の関係について理解している。 |
| 思考・判断・表現 | 分数は基準量を任意に等分した単位分数の何こ分かを表していることに着目して，数の大きさを図に表したり，計算したりする方法を考え，説明している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 分数を用いることで，整数で表せない等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表せるようになることを振り返り，数理的な処理のよさに気づき，今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 等分した長さやかさの表し方　　下p.36～41　3時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  下p.36 | ①p.36の図を提示し，分数の学習の振り返りを行うとともに，もとの長さの1/3の長さが異なる理由について話し合い，等分したときの大きさの表し方や分数が表す大きさについて理解するという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 1mを3等分した1こ分の大きさを分数で1/3mと表すことを理解する。   下p.37～38 | ①1mのテープを3等分した1こ分の長さの表し方を考える。  ②1mのテープを3等分した1こ分の長さを1mの「三分の一」といい，「1/3m」と書くことを知る。  ③1/3mは，その3こ分で1mになる長さであることを確認する。 | 予習で，p.36の白枠内の問題に取り組み，単元の学習内容をイメージする。 |
| 2 | * 分数を用いた長さの表し方について，単位分数の何こ分かを基に考え，説明することができる。   下p.38～39 | ①1mのテープを3等分した2こ分の長さの表し方を考える。  ②1ｍのテープを3等分した2こ分の長さを1mの「三分の二」といい，「2/3m」と書くことを知る。 |  |
| 3 | * 「分数」「分母」「分子」の意味を知り，水のかさについても長さと同様に端数部分の大きさを分数で表す方法を考え，説明することができる。   下p.40～41 | ①1Lを5等分した2こ分のかさの表し方を考える。  ②1Lを4等分した3こ分，6等分した4こ分のかさの表し方を考える。  ③「分数」「分母」「分子」の意味を知る。  ④「ますりんつうしん」を読む。 |  |
| (2) 分数のしくみ　　下p.42～45　4時間 | | | |
| 4 | * 分数を数直線に表し，分数の大きさの比較や1mをn等分したもののnこ分は1mになることを理解する。   下p.42 | ①数直線を用いて，4/5mと3/5mの長さの比較を行う。  ②4/5mと3/5mの長さの違いは1目盛りの何こ分かを考える。  ③5/5mは1mと同じ大きさであることを確認する。  ④1mを6等分した数直線から，目盛りが表す長さをそれぞれ求める。 |  |
| 5 | * 単位分数の何こ分という表し方を基に，1より大きい分数の表し方を考え，説明することができる。   下p.43 | ①1/5mの6こ分，7こ分，…の長さは何mか考える。  ②10/5mは2mと同じ大きさであることを確認する。 |  |
| 6 | * 3/4mと，基準量の3/4の違いについて理解する。   下p.44 | ①図を見て，色を塗った部分の長さが2mのいくつ分の長さなのかを考える。  ②1mを何等分しているかに着目し，図の色を塗った部分の長さを分数で表す。  ③3/4mとは，もとの長さ1mの3/4の長さであることを確認する。 |  |
| 7 | * 分母が10の分数と1/10の位までの小数の関係について理解する。   下p.45 | ①1/10を単位とした数直線を基に分数の大きさや，分数と小数の関係について考え，1/10＝0.1であることを理解する。  ②小数第一位を「1/10の位」ともいうことを知る。 |  |
| (3) 分数のしくみとたし算，ひき算　　下p.46～47　2時間 | | | |
| 8 | * 分数の表し方と仕組みに着目し，同分母の分数の加法及び減法の計算方法を考え，説明することができる。   下p.46～47 | ①分数（3/10と2/10）について，加法が用いることができるか考える。  ②小数の加法の計算と同様に，1/10の何こ分で考えればよいことをまとめる。 |  |
| 9 | ①分数（4/5と2/5）について，減法が用いることができるか考える。  ②前時の学習を生かして，1/5の何こ分で考えれば整数と同じように計算できることをまとめる。 |
| まとめ　　下p.48～49，126　1時間(0時間) | | | |
| 10 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   下p.48～49 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| * 【発展】巻末p.126の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み，単元の学習内容を基に分数で表される大きさについて理解を深める。 | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 15．□を使って場面を式に表そう　 ［□を使った式］ | | | 教科書の  ページ | 下p.50～57，127 |
| 配当時数 | 4時間  **授業 3時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 1月中旬 | 学習指導要領の内容 | A（7）ア（ｱ）, イ（ｱ） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 未知の数量を表す□を用いて数量の関係を式に表すことについて理解し，数量の関係を式に表したり，□にあてはまる数を調べられるようにするとともに，数学的表現を適切に活用して数量の関係を簡潔に表したり，式の意味を読み取ったりする力を養い，数量の関係を表す式を考察した過程を振り返り，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 数量の関係を表す式に未知の数量を表す□を用いることを理解し，それらを活用して場面を式や図に表したり，式の意味を読み取って場面を考え，□にあてはまる数の調べ方を理解したりしている。 |
| 思考・判断・表現 | 数量の関係や場面に着目し，数量の関係を式や図を用いて簡潔に表したり，式と図を関連づけて読み取ったりすることを通して未知の数量を表す□を用いた式について考え，説明している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 未知の数量を□を用いて表すことで，場面を式や図に表せることのよさを振り返り，数理的な処理のよさに気づき，今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) □を使った式　　下p.50～55　3時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  下p.50 | ①p.50のコマ絵を提示し，各場面を式に表すことを通して，これまでの学習を振り返りながら場面を式に表すという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 未知数があっても□を用いると文脈の通りに式で表せることや，その□にあてはまる数の調べ方を理解する。   下p.51～54 | ①文脈に沿って，未知数□を用いて，加法の式に表す。  ②表した式について，線分図を使って場面と対応させ，確認する。  ③□にあてはまる数の求め方を，代入法や図を使って考える。 | 予習で，p.50の問題に取り組み，について考えたことノートに書く。 |
| 2 | ①文脈に沿って，未知数□を用いて，減法や乗法の式に表す。  ②表した式について，図や線分図を使って場面と対応させ，確認する。  ③□にあてはまる数の求め方を，代入法や図を使って考える。 |
| 3 | * □を含む式からお話をつくる方法を，□を用いて場面を式に表したことを基に考え，説明することができる。   下p.55 | ①イラストを見て，場面をとらえる。  ②それぞれの式で，□が何を表しているのかを考え，式にしたがってお話をつくる。  ③できた問題場面を，式と対応させて確認する。 |  |
| まとめ　　下p.56～57，127　1時間(0時間) | | | |
| 4 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   下p.56～57 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| * 【発展】巻末p.127の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み，単元の学習内容を基に未知の数量と逆思考について理解を深める。 | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 16．かけ算の筆算を考えよう ［かけ算の筆算(2)］ | | | 教科書の  ページ | 下p.58～68，128 |
| 配当時数 | 10時間  **授業 9時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 1月中旬～ 2月上旬 | 学習指導要領の内容 | A（3）ア（ｱ）（ｲ）（ｳ）,  イ（ｱ）  内容の取扱い（2） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 2～3位数に2位数をかける乗法の計算について理解し，その計算が確実にできるようにし，乗法について成り立つきまりについて理解することができるようにするとともに，数学的表現を適切に活用して，計算した過程を振り返り，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 2～3位数×1位数の乗法の筆算の仕方を活用して，2～3位数×2位数の乗法を筆算で計算することができる。 |
| 思考・判断・表現 | 数の構成や乗法について成り立つきまり，既習の2～3位数×1位数の筆算の仕方に着目し，2～3位数×2位数の筆算の仕方について考え，説明している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 2～3位数×2位数の筆算について，既習の筆算の仕方を基に考えたことを振り返り，数理的な処理のよさに気づき，今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 何十をかける計算　　下p.58～61　2時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  下p.58 | 1. p.58の表を提示し，既習の2～3位数×1位数の計算がどの部分にあたるのかや未習を表す部分の計算が2～3位数×2位数であることを見いだす活動を通して，未習の2～3位数×2位数の計算方法について理解するという単元の課題を設定する。   （所要時間は10分程度） | |
| * 1位数×何十の計算の仕方について，図や数直線を基に考え，説明することができる。   下p.59～60 | ①問題場面をとらえ，立式する。  ②5×30の計算の仕方を考える。  ③12×30の計算について考える。 | 予習で，p.58の白枠内の活動に取り組み，単元の学習内容をイメージする。 |
| 2 | * 乗数と積を比較し，乗数が10倍になると積も10倍になることを理解し，その計算ができる。   下p.60～61 | ①12×3と12×30の式を比べる。  ②乗数が10倍になると，積も10倍になることをまとめる。  ③1位数×何十の計算をする。  ④2位数×何十の計算をする。 |  |
| (2) 2けたの数をかける計算　　下p.61～65　6時間 | | | |
| 3 | * 2位数×2位数（部分積がみな2桁で繰り上がりなし，繰り上がりあり）の筆算の仕方を理解し，その計算ができる。   下p.61～63 | ①問題場面をとらえ，立式する。  ②12×23の計算の仕方を考える。 |  |
| 4 | ①筆算の仕方をまとめる。  ②適用問題に取り組む。 |
| 5 | * 2位数×2位数（部分積が2，3桁で繰り上がりなし，繰り上がりあり）の筆算の仕方を理解し，その計算ができる。   下p.63 | ①58×46の筆算の仕方を考える。  ②適用問題に取り組む。 |  |
| 6 | * 2位数×2位数（乗数の末位に0がある）の簡便な計算の仕方や1位数×2位数の計算の仕方を乗法のきまり**や**性質を基に考え，説明することができる。   下p.64 | ①86×30の簡便な筆算の仕方を考える。  ②3×46の筆算と46×3の筆算を比べてどちらが計算しやすいか考える。 |  |
| 7 | * 3位数×2位数の筆算の仕方を理解し，その計算ができる。   下p.65 | ①587×34の筆算の仕方を，既習の筆算を基に考える。  ②桁数が増えても，既習の筆算と同じように計算できることをまとめる。 |  |
| 8 | ①乗法の筆算を練習する |
| (3) 暗算　　下p.66　1時間 | | | |
| 9 | * 簡単な場合の2位数×1位数の暗算の仕方を理解し，その暗算ができる。   下p.66 | ①23×3，230×3，23×30の暗算の仕方を考える。  ②25×4＝100を基にして，25×8の暗算の仕方を考える。  ③8×25の暗算の仕方を考える。 |  |
| まとめ　　下p.67～68，128　1時間(0時間) | | | |
| 10 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   下p.67～68 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |
| * 【発展】巻末p.128の「おもしろ問題にチャレンジ」に取り組み，単元の学習内容を基に3位数×2位数の乗法の筆算について理解を深める。 | | | |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | おぼえているかな？ | | | 教科書の  ページ | 下p.69 |
| 配当時数 | ― | 活動時期 | 2月上旬 | 学習指導要領の内容 | ― |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| ― | * 既習内容の理解を確認する。   下p.69 | ①「おぼえているかな？」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 倍の計算 | | | 教科書の  ページ | 下p.70～73 |
| 配当時数 | 3時間 | 活動時期 | 2月中旬 | 学習指導要領の内容 | A（3）（4）（7） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 数量の関係や倍の意味について理解し，比較量や基準量，割合を求められるようにするとともに，数学的表現を適切に活用して倍の意味を図や式を用いて考える力を養い，二つの数量の関係を考察した過程を振り返り，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 数量の関係や倍の意味を理解し，問題場面に応じてテープ図や□を使った式などを用いながら，答えを求めることができる。 |
| 思考・判断・表現 | 問題場面や数量の関係に着目し，倍の意味や計算方法について考え，説明している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 問題場面や数量の関係，倍の意味について考えた過程を振り返り，数理的な処理のよさに気づき，今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 倍の計算　　下p.70～73　3時間 | | | |
| 1 | * 比較量を求める場合は乗法を用いればよいことを，図や式を用いて考え，説明することができる。   　下p.70～71 | ①自分の「あた」や「つか」の長さを調べる。  ②15㎝の4倍の長さの求め方を考える。  ③比較量を求めるには，乗法を用いることをまとめる。 | 予習で，p.70の上段を読み，自分の「あた」や「つか」の長さを調べ，ノートに書く。 |
| 2 | * 倍を求める場合は除法を用いればよいことを，図や式を用いて考え，説明することができる。   　下p.72 | ①40mが5mの何倍かを求める方法を考える。  ②何倍かを求めるには，除法を用いることをまとめる。 |  |
| 3 | * 基準量を求める場合は，□を使って乗法の式に表し，除法を用いて□を求めればよいことを，図や式を用いて考え，説明することができる。   　下p.73 | ①数量の関係をテープ図や数直線に表して考え，□を使って乗法の式に表す。  ②基準量を求めるには，除法を用いることをおさえる。 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 17．三角形を調べよう　［三角形と角］ | | | 教科書の  ページ | 下p.74～89 |
| 配当時数 | 8時間  **授業 6時間**  **以外 2時間** | 活動時期 | 2月下旬～ 3月上旬 | 学習指導要領の内容 | B（1）ア（ｱ）（ｲ）, イ（ｱ）  内容の取扱い（6） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 円を用いた作図を通して二等辺三角形や正三角形の辺の特徴や角の大きさについて理解し，図形の特徴をとらえることができるようにするとともに，数学的表現を適切に活用して図形を構成する要素や構成の仕方を考える力を養い，辺の長さや角の大きさに着目し，図形を考察した過程を振り返り，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 二等辺三角形や正三角形の辺の特徴や角の大きさについて知り，それらを活用してそれぞれの図形の意味や性質，作図の仕方を理解している。 |
| 思考・判断・表現 | 図形を構成する要素に着目し，二等辺三角形や正三角形の性質を考えるとともに，それらの作図の仕方について考え，説明している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 辺の長さや角の大きさなどの図形を構成する要素に着目し，身の回りのものの形を図形としてとらえたことを振り返り，図形の敷き詰めなどの活動によって模様の美しさや平面の広がりに気づき，今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 二等辺三角形と正三角形　　下p.74～83　4時間　 ★他教科との関連：英語 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  下p.74 | ①p.74の写真を提示し，身の回りの三角形に着目させるとともに，円周上に点を12個等間隔に打った図を用いて，円周上の点や中心を直線で結んで三角形をつくり，分類する活動を通して，三角形を構成する要素に着目し二等辺三角形や正三角形について理解するという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * 辺の長さに着目して三角形を弁別し，二等辺三角形や正三角形の意味や性質について理解する。   下p.75～76 | ①円周上の等間隔の点や円の中心を結んで，いろいろな三角形をつくり，できた三角形を辺の長さに着目して弁別する。  ②「二等辺三角形」「正三角形」の意味や性質を理解し，探したり選んだりする。 | 予習で，p.74の白枠内の写真を観察し，p.135カードを使って様々な三角形をかく。 |
| 2 | * 二等辺三角形の作図の仕方を理解し，作図することができる。   下p.77 | ①底辺が3cmで2つの辺が4cmの二等辺三角形のかき方を考える。  ②コンパスと定規を用いて，二等辺三角形を作図する。  ③二等辺三角形の作図練習をする。 |  |
| 3 | * 正三角形の作図の仕方を，二等辺三角形の作図の仕方を基に考え，説明することができる。   下p.78 | ①3辺が4cmの正三角形のかき方を考える。  ②コンパスと定規を用いて，正三角形を作図する。  ③正三角形の作図練習をする。 |  |
| 4 | 〔今日の深い学び〕   * 二等辺三角形や正三角形の作図の仕方を，円の性質を用いて考え，説明することができる。   下p.79～83 | ①ノートにかいた半径3㎝の円を用いて，中心と円周上の2つの点を結びいろいろな三角形をかき，どれも二等辺三角形になることを確認する。  ＊デジタルコンテンツ設定有  ②円周上のどの2点をとっても二等辺三角形になる理由を考え，説明する。  ③正三角形をかくには，円周上の2点をどのようにとればよいか考える。  ④円の性質を使うと，二等辺三角形や正三角形がかけることをまとめる。 |  |
| (2) 三角形と角　　下p.84～87　2時間 | | | |
| 5 | * 角の意味や角の大きさの相等や大小を理解し，調べることができる。   下p.84～85 | ①三角定規で，直角や他の鋭角を紙に写し取り，一番とがっている角を探す。  ②「角」及び角の大きさの意味を知る。  ③紙に写し取った三角定規の角を用いて，角の大きさを比べる。  ④角の大きさは辺の長さに依存しないことをまとめる。 |  |
| 6 | * 二等辺三角形や正三角形の角の特徴を理解する。   下p.86～87 | ①二等辺三角形と正三角形を紙にかいて切り抜き，それぞれの3つの角の大きさを調べる。  ②二等辺三角形，正三角形の角の性質をまとめる。  ③三角定規2枚で三角形を構成しながら，二等辺三角形と正三角形の性質の理解を深める。 |  |
| まとめ　　下p.87～89　2時間(0時間) | | | |
| 7 | * 単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し，問題を解決する。   下p.87 | 〔いかしてみよう〕  ①p.135にある二等辺三角形や正三角形を並べて敷き詰め模様を作る。  ②コンパスや定規を用いて模様を作る。 | **以外**で取り扱う。①は，台紙に貼り付けるなどして作った敷き詰めた模様が残るようにする。②は，ノートにかくなどしてかいた模様が残るようにする。 |
| 8 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   下p.88～89 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 18．わかりやすく整理して表そう　 ［ぼうグラフと表］ | | | 教科書の  ページ | 下p.90～104 |
| 配当時数 | 10時間 | 活動時期 | 3月上旬～中旬 | 学習指導要領の内容 | D（1）ア（ｱ）（ｲ）, イ（ｱ）  内容の取扱い（8） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | 身の回りの事象について，観点別にデータを分類整理することについて理解し，表や棒グラフに表したり読み取ったりすることができるようにするとともに，数学的表現を適切に活用して表や棒グラフから見いだしたことを考察する力を養い，データを整理し考察した過程を振り返り，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | 観点別にデータを分類整理することを理解し，それらを活用して表や棒グラフから項目間の関係や集団のもつ全体的な特徴を読み取ったりすることができる。 |
| 思考・判断・表現 | 目的に応じてデータを整理する観点に着目し，身の回りの事象について表や棒グラフを用いて考察したり，見いだしたことを分かりやすく表したりする方法について考え，説明している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | データを分類整理したり，それらを基に身の回りの事象について考察したりした過程を振り返り，数理的な処理のよさに気づき，今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) 整理のしかたとぼうグラフ　　下p.90～96　5時間 | | | |
| 1 | 〔プロローグ〕  下p.90 | ①p.90のイラストを提示し，けがの種類や場所，時間などについての話し合いを通して，身の回りの事象を解決するために，データを見やすく整理し考察するという単元の課題を設定する。  （所要時間は10分程度） | |
| * データを分類整理する方法や整理した結果を表にまとめる方法を理解する。   下p.91～92 | ①p.91の吹き出しを基に，けがをした時間別の人数を「正」の字を使って整理する。  ②結果を表に表す。  ③「合計」の意味を知る。 | 予習で，p.90の白枠内の場面をとらえ，ポスター作成のために，どんなことを調べたいかをノートに書く。 |
| 2 | ①p.133の記録を基に，けがをした場所と人数を表にまとめる。  ②「その他」の意味を知る。 |
| 3 | * データを棒グラフに表すと，数量の大小や差が分かりやすいことや，棒グラフの読み取り方を理解する。   下p.93～94 | ①「棒グラフ」について理解する。  ②表と棒グラフを比較し，どんなことが分かりやすくなったかを考える。  ③棒グラフの長さに着目して，棒グラフの特徴をまとめる。 |  |
| 4 | * 棒グラフのかき方を理解し，表から棒グラフにかき表すことができる。   下p.94～95 | ①けがをした場所と人数を整理した表を見て，棒グラフに表す。  ②項目のとり方，1目盛りの大きさなどの順に従ってグラフをかく。  ＊デジタルコンテンツ設定有  ③かいた棒グラフから読み取れることを考える。 |  |
| 5 | * データを表に分類整理し，棒グラフに表したり，倍の考えを用いてデータの分析をしたりすることができる。   下p.96 | ①p.133のデータを「正」の字を用いて調べ，表に表す。  ②前時に学習した棒グラフのかき方を基に，グラフにかき表す。  ③棒グラフからデータどうしの関係を倍を用いて表す。  ④整理したデータを用いて，どんなポスターをつくることができるか考える。 |  |
| (2) ぼうグラフの1めもりの大きさ　　下p.97～100　2時間 | | | |
| 6 | * 数量が横軸に表されている棒グラフを読み取ったり，目盛りの取り方について理解したりすることができる。   下p.97～98 | ①横軸に数量が書かれている棒グラフの読み方や降順に並べない場合があることを知る。  ②1目盛りの表す大きさが異なる場合の読み取り方を知る。  ③表やグラフ用紙から，1目盛りをいくつにすればよいかを考え，棒グラフに表す。 |  |
| 7 | * 同じデータを基にした，1目盛りの表す大きさが異なる3つの棒グラフを比較し，棒グラフの読み取り方や表し方の工夫を理解する。   下p.99～100 | ①1目盛りの表す大きさの異なる3つの棒グラフを比較する。  ②棒の長さ等に着目しながら，棒グラフの読み取りをする。  ③棒グラフを組み合わせたグラフを読み取る。 |  |
| (3) 表のくふう　　下p.101　1時間 | | | |
| 8 | * 一次元表を組み合わせた簡単な二次元表を読むことができる。   下p.101 | ①3か月のけがの種類と人数をまとめた3つの一次元表を読む。  ②3つの表をまとめた二次元表に数を書き入れた後，その表を読む。  ③二次元表の有用性を考える。 |  |
| まとめ　　下p.102～104　2時間 | | | |
| 9 | * 単元の学習の活用を通して事象を数理的にとらえ論理的に考察し，問題を解決する。   下p.102 | 〔いかしてみよう〕  ①二次元表からデータを読み取る。  ②二次元表からけが調べのデータを棒グラフに表す。 | 本単元で学習する統計の内容は，中学校，高等学校でも学習内容が充実する。そのため，例外的に授業で扱うことを想定した。 |
| 10 | * 学習内容の定着を確認するとともに，数学的な見方・考え方を振り返り価値づける。   下p.103～104 | ①「たしかめよう」に取り組む。  ②「つないでいこう 算数の目」に取り組む。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | そろばん | | | 教科書の  ページ | 下p.105～107 |
| 配当時数 | 2時間 | 活動時期 | 3月中旬 | 学習指導要領の内容 | A（8）ア（ｱ）（ｲ）, イ（ｱ） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の目標 | | そろばんによる数の表し方について理解し，そろばんを用いて簡単な加法及び減法の計算ができるようにするとともに，数学的表現を適切に活用して大きな数や小数の仕組みを考える力を養い，計算の過程を振り返り，今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。 |
| 単元の  観点別  評価規準 | 知識・技能 | そろばんを用いた加減計算の仕方を理解し，それらを活用して簡単な加減計算をすることができる。 |
| 思考・判断・表現 | そろばんの仕組みや十進位取り記数法の仕組みに着目し，数の入れ方や取り方を考え，説明している。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | そろばんの仕組みと十進数の仕組みを振り返り，数理的な処理のよさに気づき，今後の生活や学習に活用しようとしている。 |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| (1) そろばん　　下p.105～107　2時間 | | | |
| 1 ・ 2 | * そろばんの各部分の名称を知り，そろばんにおかれた数の読み方や数の入れ方，取り方を理解し，加減法の基本的な計算をすることができる。   下p.105～107 | ＊デジタルコンテンツ設定有  ①そろばんの各部分の名称を知り，そろばんに数を入れたり，取ったりする練習をする。  ②64＋23，70＋48の計算をして，たし算の基本運珠の仕方を知る。  ③64－23，70－48の計算をして，ひき算の基本運珠の仕方を知る。  ④1.2＋0.4や2.6－0.3，4万＋3万，6万－2万などの計算に取り組み，小数や大きな数でもそろばんで計算できることを知る。  ⑤「ますりんつうしん」を読み，そろばんの歴史について知り，そろばんへの興味・関心を高める。 | 左記⑤を**以外**で行うことにより，そろばんに対する理解を深める。  授業では，①～④により時間をかけ丁寧な指導を行う。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 考える力をのばそう　「間の数に注目して」 | | | 教科書の  ページ | 下p.108～109 |
| 配当時数 | 1時間  **授業 0時間**  **以外 1時間** | 活動時期 | 3月中旬 | 学習指導要領の内容 | A（3）（7） |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 | * 直線や円周上に等間隔に配置されたものの数と間の数との関係に着目して，図を用いて問題内容を整理し，考察する力を伸ばす。   下p.108～109 | ①場面をとらえ，解決の仕方を考える。  ②図を見て，間の数が木の数より1小さいことに気づき，答えを求める。  ③場面をとらえ，解決の仕方を考える。  ④図を見て立式し，間の数と木の数が等しいことに気づき，答えを求める。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | 3年のふくしゅう | | | 教科書の  ページ | 下p.110～114 |
| 配当時数 | 3時間  **授業 0時間**  **以外 3時間** | 活動時期 | 3月中旬 | 学習指導要領の内容 | A～D |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| 1 ～ 3 | * 既習内容の理解を確認する。   下p.110～114 | ①問題を解決する。 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 単元名 | かたちであそぼう　「ペントミノ」 | | | 教科書の  ページ | 下p.116 |
| 配当時数 | ― | 活動時期 | ― | 学習指導要領の内容 | ― |

| 時 | 目標 | 学習活動 | **以外 の学習活動例や**  **指導上の留意事項** |
| --- | --- | --- | --- |
| ― | * いくつかの図形を組み合わせて正方形や長方形を作る活動を通して，図形に親しみ，その楽しさを味わう。   下p.116 | ①正方形を5こつなげてできた12種類の形をいくつか選んで，正方形や長方形を作る。  ＊デジタルコンテンツ設定有 | 問題の解決，答え合わせを**以外**で行う。  児童がわからない問題があれば，個別に支援する。 |